

第6学年〇組 道徳学習指導案

指導者 ○〇 ○〇

- 1 主題名 生命の尊さ 高学年3—(1) 生命尊重
資料名 「涙そうそう」 (日本標準)

2 主題設定の理由

- 本学級の児童は、今までに生命の誕生の学習や食を通して生命を考える学習をしている。しかし、6年生といっても、身近なところで生命の誕生や近親者の死に立ち会うことは少ない。他者の生命や存在を感じにくい状況があると思われる。また、日頃の会話や集会の出し物などの中で、安易に「死」が扱われている様子が見られる。

そこで、生命が大切だと理解はしているが、生や死について深くとらえていないと思われるこの時期に、人の誕生の喜びや死の重さ、生きることの尊さを知り、自他の生命を尊重しようとする心情を育てることは、意義深いと考える。

- 本主題は、「身近な人の死にかかわるできごとや周囲の人々の心情に触れ、生命の重さを感じ、大切にしようとする心情を育てる」ことを主なねらいとしている。身近な人を失うことほど、辛く悲しいことはない。その人を想うことが長い時間をかけて、自分の生き方に深く関わっていることに気付いていく。生命は、多くのものに支えられ、自らの力で生かしていくものである。生命が大切で、何よりも重いものであるということを深く感じとらせるうえで、本主題を取り上げることは、大変意義深いと考える。

- 本資料は、作詞者の森山良子さんが「涙そうそう」という言葉の意味（涙があふれてとまらず、ぼろぼろ流れ落ちる）を知り、若くして亡くなった兄への想いを歌詞に込めたという、「涙そうそう」の曲の誕生の話である。

本時指導にあたっては、歌詞に込められた森山さんの想いを知ることにより、亡くなった人への想いを感じ取りながら、身近な人や自分の生命の大切さを考えていってほしいと願っている。導入では、「涙そうそう」の曲を聴き、感じたことを出し合う中で、本時のめあて「[涙そうそう]の歌詞に込められた想いから、[生命]について考えよう。」へとつなぐ。展開1では、資料「涙そうそう」を読み、「涙そうそう」の言葉の意味や曲ができるまでのことを言葉の短冊を使いながら把握させたうえで、お兄さんが亡くなったときの森山さんの気持ちやどんな想いで「涙そうそう」を書いたのかを話し合う。森山さんに共感させるために、歌詞を振り返らせながら、兄に手紙を書くという設定で道徳ノートに書かせ、それをもとに交流させる。単なる手紙の発表に終わらないようにするため、時には問い返したり、友達の手紙を聞いて感想を発表させたりして、森山さんの心情（兄への想い、いろいろな人の支え、生命の尊さ）に迫りたい。展開2では、生命の大切さを感じたり考えたりしたことを振り返らせることで、自他の生命が人に支えられていることを感じとらせたい。終末では、「涙そうそう」の曲を聴きながら、「あなたの涙そうそう」の本の中の一編を紹介し、大切な人を失う悲しみ、生命の重さを感じながら学習を終えたい。

3 本時のねらい

自分を支えてくれる人がいることに気づき、生命を大事にしようという心情を育てる。

- 4 本時 平成21年11月25日(水) 第5校時 第6学年〇組教室において

- 5 準備 資料「涙そうそう」、CD(涙そうそう)と歌詞、森山良子さんの写真、言葉の短冊、道徳ノート 「あなたの涙そうそう」(TBSプロジェクト編)

6 展開

段階	学 習 過 程	教 師 の 支 援
導 入	<p>1 「涙そうそう」の歌から感じたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 悲しい感じ ○ 誰かを想っている曲かな ○ 誰かが亡くなったのかな <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>「涙そうそう」にこめられた想いから、「生命」について考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 曲を聴きながら、歌詞に目を通させる。詩として朗読させることで、イメージを持たせやすくする。
展 開 1	<p>2 資料「涙そうそう」を読んで話し合う。</p> <p>(1) 「涙そうそう」の意味やこの曲ができた経過について知る。</p> <p style="padding-left: 20px;">「涙そうそう」・・・沖縄の言葉 涙があふれてとまらず、ぼろぼろ流れ落ちる。</p> <p>(2) 「涙そうそう」の歌詞にこめられた森山さんの想いについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ お兄さんが亡くなった時の森山さんの気持ちについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ どうして突然死んじゃったの？ ・ これから私はどうしたらいいの。 ○ 「涙そうそう」を書いているときの森山さんの気持ちについて考え、道徳ノートに書き、話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>森山さんは、どんな想いで「涙そうそう」を書いたのだろうか。 天国にいるお兄さんに手紙を書いてみよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ お兄さん、見ていますか？私は・・・ ・ いつまでもお兄さんのことを忘れません。・・・ ・ 私は一人ではないのですね。・・・ <p>(3) 森山さんは、たくさんのお便りを読んだどのように感じたか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人の死とは何と悲しいものだろう。 ・ 多くの人の声に励まされた。 ・ 勇気付けられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 森山良子さんの写真を提示し、より資料に共感させたい。 ○ 曲ができた経過や森山さんの言葉を言葉の短冊で提示し、話の内容をつかませたり、森山さんの気持ちを考えるときの手がかりにしたい。 ○ 歌詞を振り返らせながら、森山さんの気持ちを考えさせる。 ○ 森山さんになったつもりで、天国のお兄さんへ手紙を書くことをとおして、より森山さんの想いに共感させたい。 ○ お互いが書いた手紙を聞き合う中で、生命がかけがえのないものであること、私達は人に支えられて生きていること、亡くなった人の分まで力いっぱい生きていくことが触れられている内容を取り上げ森山さんの想いに共感させたい。 ○ 届けられた便りに森山さんもまた、癒され、励まされたことに気付かせたい。
展 開 2	<p>3 これまでの自分の生活を振り返り、生命の大切さを感じたり、考えたりしたことを道徳ノートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の生命を考えさせることにより、周りの人から支えられたり、見守られたりしていることに気付かせ、生命を大事にしようという気持ちをもたせたい。
終 末	<p>4 「涙そうそう」のオルゴール曲を聴きながら「あなたの涙そうそう」の本の中から一つの話聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 曲を聴きながら心に余韻を持たせて学習を終えたい。